

報道関係 各位

2026年4月28日
カバヤ食品株式会社

中国事業開始にあたり株式会社Yorenと独占的事業パートナー契約を締結 ～ 2026年5月から中国国内でグミ製品の販売を開始 ～

カバヤ食品株式会社は、当社の事業成長をより強固かつスピード感のあるものとすることを目的に、その成長エンジンのひとつとして、海外進出を本格化させます。そのスタートとして、本年4月からアメリカ合衆国における事業展開を開始しました。

続けて本年5月より中国国内における事業展開を開始するにあたり、2026年4月28日(火)に株式会社Yoren(以下 Yoren社)と中国国内における独占的事業パートナー契約を締結しましたので、お知らせします。

2024年度に創業以来初めて売上300億円を超え、2025年度も過去最高の売上を更新見込みであり、主力ブランドの『タフグミ』や『塩分チャージタブレット』『セボンスター』など、各カテゴリーにおける競争力あるブランドを持つことを強みとして、当社は着実に成長を続けています。

一方で、日本の国内市場は将来的な人口減少が確実なものである中で、当社は強いブランド・製品をいかした新しい市場の獲得を検討してきました。

その中で、世界的に拡大基調にある菓子市場の中でも中国は高い成長率を誇る魅力的な市場であり、特に当社主力ブランドが位置するグミカテゴリーは、同国でも成長への期待が極めて高いカテゴリーです。また日本国内でのインバウンド需要の増加などを背景にした「日本のお菓子」に対する関心の高まりも、強く追い風になるものです。

こういった環境を踏まえて当社は中国での事業展開を決定し、そのパートナーに中国市場に精通する日本発のスタートアップであるYoren社を迎えたものです。「文化と文化を繋ぎ、人と人が分かりあえる世界を作る」という同社のビジョンと中国国内に持つ多くのネットワークや約7500万人を超える会員情報といったリソースは、巨大かつユニークな中国市場進出にあたって最適なパートナーであると考えています。

当社は今後Yoren社とともに、中国国内での営業・マーケティング活動を積極的に展開し、『タフグミ』や『塩分チャージ』といった主力ブランドを中心に、中国市場でのカバヤブランドと製品ブランドの確立を目指します。

<株式会社Yoren 会社概要>

設立日 2012年3月

代表者 金田 修

本社所在地 東京都千代田区麴町2-5-1 半蔵門 PREX South 10F

事業内容 日本企業の海外進出支援、DX支援、CRMプログラム運営など